

(2) 朝読書等読書活動

読書に親しむ生徒の育成

新宿区立新宿中学校 編



実践事例	
1	実践時間帯 : 全校朝読書の時間を設定して実施 (8時25分から8時35分までの10分間) 土曜スクールでの図書館開放 (年15回実施)
2	対象学年 : 全学年
3	活用した書籍情報 : <ul style="list-style-type: none">・地域学校教育活動支援員が定期的に発行している学校図書館だより「図書の缶詰」の活用・地域の図書館等の利用の促進・国語の授業等における新刊本、人気本の紹介・国語科教員による本の紹介、学校での本の販売
4	読書活動の実践の概要 <p>(1) 朝読書の基本方針</p> <p>ア 全校一斉に朝読書を行う。教師も生徒とともに朝読書を行う。</p> <p>イ 読む本は何でもよい。ただし、雑誌、写真集、教科書を除く。事前に生徒自ら好きな本を選び準備をする。</p> <p>ウ 全校朝礼の日を除き毎朝10分間黙読を行う。チャイムで始めチャイムで終わる。チャイム前から読むことは構わないが、終了はチャイムが鳴り始めると同時にスパッと切ることが大切。</p> <p>エ 本を読むこと以外何も求めない。感想文を書くこと等を前提としない。</p> <p>(2) 期待される効果</p> <p>ア 静寂と集中の時間の確保 イ 他の活動への波及効果</p> <p>ウ 本を読む能力(読解力)の伸長 エ 学力の向上</p> <p>オ 日常生活の変化(生活面の落ち着き→授業への集中→学力の向上)</p> <p>カ 豊かな心と人間関係の構築 キ 人間的な成長</p>
5	活動のポイント <p>(1) 教務主任を委員長とした「朝読書」推進委員会を置き、基本的な方針等の立案をする。</p> <p>(2) 図書館の積極的な活用や、本の選択に対する支援(新刊本の紹介や今人気の書物など)は地域学校教育活動支援員を十分に活用する。生徒会図書委員会の活動とも連携する。</p>
6	留意点 <p>(1) 学校の図書館や区内外の図書館の利用をすすめる。図書選択の手助けはする。</p> <p>(2) 「朝読書」の目的等、生徒への事前の指導を十分行う。</p> <p>(3) 保護者にも協力を要請する。</p> <p>(4) 全教師が一体となった指導。読書の時間は全教師が読書する。</p> <p>(5) <u>朝読書中に、担任は黒板に連絡事項やその他のことを板書しない。</u>※生徒が板書に意識がいき読書に集中できないため。</p>

